

## 「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ  
Theme

「環境学習  
琵琶湖の環境について学習しよう」

講師等  
Lecturer etc.

滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課

学校・園名  
School name

彦根市立南中学校（1年生）

実施日  
Date

平成 25 年 2 月 18 日

教科等  
Subject etc.

総合的な学習の時間

### 授業 Class

「琵琶湖は、今」と題して、1.琵琶湖のあらまし、2.琵琶湖の価値、3.琵琶湖で起こっていること（昔～今）、4.琵琶湖を守るために私たちができること、のお話をしてくださいました。

内容は、琵琶湖の固有種のこと、琵琶湖の豊かな自然環境や水源・観光資源としての価値のこと、また、問題になっているカワウや外来魚や水草のことなどを教えてくださいました。そして、琵琶湖を守るために「水を汚さない」や「ゴミのポイ捨てをしない」、「水に親しんでいこう」…など私たちに出来ることを考え、『琵琶湖を大切に思う気持ち』が大切なことを学びました。



### 感想 Impression

#### 生徒より Impression from Children

- 琵琶湖は日本最古の湖で昔は三重県にあったことを初めて知りました。その琵琶湖が今、いろいろな問題を抱えていて驚きました。私たち人間が動植物に適した環境をつくったり、真剣に今の状況を理解し、どう取り組むかを考えることが大切だと思うし、それを呼びかけることも必要だと思いました。
- カワウや外来魚の繁殖と固有種の減少が関係していること、水質によるアオコや赤潮の発生、水草の増加など、写真を用いてわかりやすく教えてくださいました。問題は深刻だと知りました。
- 琵琶湖だけに住む魚がいる一方で、琵琶湖の外来種の多さを知りました。家族で釣りに行ったときにも、外来魚の回収箱を見たことがあります。これからはリリースは絶対しないで、回収箱に入れます。
- 琵琶湖は色々な問題があることなど、初めて知ったことばかりでした。今後、環境を守っていくために私たちにできることを聞いたので、行動にうつしたいと思いました。
- 生きているうちに、琵琶湖の水をそのまま飲めるくらいきれいにしたいです。

#### 学校より Impression from school

外来魚やカワウの繁殖と固有種の減少、アオコや赤潮の発生、水草の大量発生、ゴミ問題など、琵琶湖の歴史に沿って説明をしていただきました。生徒たちは、メモを取りながら話を聞き、身近な環境について学ぶよい機会となりました。

#### 講師より Impression from lecturer

生徒の人数が多かったので緊張しました。講義型で、こちらから話す時間が長かったので、生徒がどう感じてくれたかな？ということが聞きたいです。

#### メッセージ

今日の授業が、琵琶湖を大切に思う気持ちが強くなるきっかけとなると嬉しいです。少しでも琵琶湖のことを自分のことのように大切に思っています。

これからも、一緒に琵琶湖を守っていきましょう。